

百万人民の武装決起で機動隊を殲滅し

羽田空港を占拠せよ

佐藤訪米を断固阻止せよ

★佐藤はなぜ訪米するのか★
佐藤訪米は、日本をアジアの民衆に敵対し侵略と反動の道に、訪米の最大の理由は、このままでは安保体制がもたなくなることにある。ただでさえベトナムの敗戦でアメリカのアジア支配がガタガタになりかかっているうえに、「太平洋のカナメ石」たる沖縄で大戦争が爆発し、本土でも羽田以来三年ごしの反動反安保闘争がまさまじくつづいている。どこもろが、独占資本はアジアに経済侵略しなげればやっつけていけぬと、木っぴらした。安保体制のタガをゆるし、強化しなげれば、日米支配階級はおさまらぬ女の泣き。

★訪米して何を求めるのか★
そこで佐藤はニクソンと共謀して、第一に安保の延長を進行しようとしている。民衆はどうか、国会にすら相談せず、安保延長の調印式、調印を強行しようとするのだ。第二に、沖縄基地の防衛にテコ入れすることだ。第三にアメリカの強硬だけでは専民の闘いはおさまらぬ。だから日本政府も乗り出して、沖縄の後や、沖縄からの米軍の自由入駐を承認し、あわせて本土から自衛隊の機動隊を派遣して基地防衛に役立てようとしている。第

三に、この沖縄の状況は本土に押しひろげることだ。ベトナムを連ねられた米軍は沖縄にも本土にも上陸しつつあり、第四に防衛計画にみる自衛隊の増強や憲法改定が準備されている。

★「七二年沖縄返還」のベラニ★
「七二年沖縄返還」という約束手形は、こうしたことを七二年までに沖縄と本土の民衆に呑ませてしまおうための手段なのだ。沖縄民がこんなインチキ返還を許しているのは当然だ。沖縄の本土復帰は、基地撤去、安保精神とまったく切りはなすことができない。

★沖縄返還、安保紛争、日帝打倒へ★
まさに佐藤訪米は、安保強化、侵略戦争、野蠻政治の道だ。絶対に訪米を阻止し、佐藤内閣を倒せ！ 基地を撤去し、安保を紛争せよ！ 日本帝國主義を打倒せよ！ 沖縄返還闘争はその住だ！
現地沖縄も総決起する。アメリカでも佐藤訪米阻止、ベトナム反戦の闘いが激発する。だが、訪米阻止の決定的なカギをにぎるものこそ、日本本土の闘いだ。日本とアジアの新时代をひらくために、訪米阻止に総決起せよ。

13日から五日間の激闘に起て

佐藤訪米阻止に起つかいなが、羽田に行くかいなが、これこそ、いま君が人間であるかどうかのわかれ目だ。政府やマスコミにおどろおどろされて闘いを非難することは、自分で自分を地獄につまきおとすことだ。「自衛隊」などは最もみじめな自殺行為だ。東京は空襲で被災地になった。それにくらべたら、アモの被害などしれたものだ。しかもそれさえもともも機動隊の襲撃で起つたことだ。君たちは、それと自分のわずかな財産を守りたいなら、機動隊をやっつけろことだ。佐藤訪米を阻止し、侵略戦争の世のなかが来るのを防ぐことだ。市民諸君！ いっさいを傾け、なにはさすべでの心ある労働者、農民、学生、高校生、市民諸君！ いっさいを傾け、なにはさすべでの心ある労働者、農民、学生、高校生、市民諸君！

十七日の訪米予定を不可能にさせるために、十三日から総決起せよ！ 職場、学園その他あらゆるトリアから、いっせいに街頭に進出せよ。東京中を民衆のトキの声でうめつくせ！ 民衆の敵、佐藤の私兵暴力団、機動隊をコナコナに粉碎せよ！ 機動隊の暴力には、民衆はどんな暴力手段を使ってもあまわらない。石だろろうが、棒だろろうが、ガツリンだろろうが、手に入るものいっさいを武器に使って機動隊を撃滅し、訪米阻止の大旗をきりひらけ！ 機動隊が東京をロックアウトにするなら、われわれの回答は東京中を騒乱の街とすることだ。東京中を訪米阻止の砲口とすることだ。

16、17日、羽田へ殺倒せよ

早くも佐藤は、十七日、ヘリコプターで羽田へ逃げ出すことをきめた。彼はいまや、民衆との接触に恐怖している。10、21には三万の機動隊を配置しながら闘争の爆発をおさえることができなかった。しかも、いま10、21以上に訪米阻止の力は盛りあがっている。政府は警備の自信を失った。暴力機動隊の力もさきが見えた。佐藤が訪米予定を中止しないなら、羽田空港を占領しよう。十三日からの激闘のいっさいをあけて、十六日、十七日には羽田に殺倒しよう。すべての道路から、あらゆる行きかたのあらゆる手段を使って、なだれのように羽田空港に突入せよ！ 羽田10、8闘争の恨みの青天橋を押し渡れ！ 百万人民の空港武装占拠で、佐藤訪米を葬れ！

■13日 総評スト、高校封鎖、全都総決起 ■15日 この日までに全国総動員反戦労働者総決起集会、六時、日比谷 ■16日 沖縄返還主催十万人集会 十一時、代々木公園 ■16、17日 空港占拠首都制圧

我々の闘争は、日本とアジアの新时代をひらくために、訪米阻止に総決起せよ！